

この4年間で町財政はどうなったか 数字を見ると着実に健全化している

G議員 青木町政4年間の歩み ①就任当時の財政状況と現在の状況はどうなったか。②国や県の補助事業は増えたのか。減ったのか。③継続事業の状況と新規に取り組んだ事業は何か。④県観光物産センター誘致やその他の企業誘致の経過や今後の見直しは。佐川急便は前任者が誘致したのか。⑤的場緒立区画整理事業がその他の区画整理事業の取り組みと今後の計画は。⑥自動車電話の成果は。町長がしたのはこれだけだという批判もあるが。⑦国、県との関係はふまえて今後の町政運営の自信はどうか。



12月議会

①財政を数字的にみる 昭和59年度と62年度の決算では、経常収支比率79・1%が73・6%に、公債費比率16・6%が14・4%に。財政力指数は0・621から0・625へ。②国や県の補助事業は増えたのか。減ったのか。③継続事業の状況と新規に取り組んだ事業は何か。④県観光物産センター誘致やその他の企業誘致の経過や今後の見直しは。佐川急便は前任者が誘致したのか。⑤的場緒立区画整理事業がその他の区画整理事業の取り組みと今後の計画は。⑥自動車電話の成果は。町長がしたのはこれだけだという批判もあるが。⑦国、県との関係はふまえて今後の町政運営の自信はどうか。

消雪パイプ設置問題、議会軽視では十分話をしなかったのは落度だった

J議員 議会の認識と対応について、昭和60年2月の就任以来、議会と行政は両輪といっている。浅学菲才の身ゆえお許し願いたい。私も2万3千人町民の負託にこたえ、議会と良好な関係にしたいと考えてきた。消雪パイプは営事業であり、今年は一町を除いて地元負担はない。議会の産業建設委員会の協議会で説明はした。議会全体に説明しなかったのは申し訳ないが、県の事業ということも理解してほしい。ガス水道局長 法的に問題はないが、議会に十分話をしなかったのは落度であった。舌足らずの点おわびしたい。

指名委員会のメンバーと開催回数は 町長ほか6人、63年度は27回開いた

J議員 指名委員会の内容について 過去61年度、62年度と63年12月までの開いた回数とメンバーは。適当な指名と

発足。北部の区画整理は63年4月に発起人会を開いている。山田、寺地、立仏で地権者122名。⑥情報化社会であり、連絡事項も多くそれなりの成果は上さねぬようにやっていく。

小学校低学年での学童保育の実施を 留守家庭に178人。要望聴き調査検討

H議員 学童保育について 今年6月から延長保育ができた。しかし、小学校低学年の学童保育はまだ。共働きが増えている。新潟市から転入した人は黒埼はないので困っている。①現在の留守家庭児童の実態は。②学童保育をどう考えているのか。

道路での地ふぶきに対し町の対策は 除雪に支障があるようなら検討する

H議員 地ふぶき対策について 大雪のとき道路に地ふぶきがでる。町の対策は。建設課長 須上線、鳥原寺地線、善久北場線で地ふぶきになるところがあるが、通行に支障はきたしていない。パトロールを週2回している。

なぜ公共下水を新潟市とできないか 市がやるべきに協議しなかったため

I議員 前任者の行政姿勢により、現在町政を進める上で困難な点があると思うが、どのような点か。①公共下水に政係で構成。61年度は19回、62年度は29回、63年度は27回(12月16日現在。適当というものは事業の規模、会社の実績などを考えて判断している。

議会とは車の両輪になっていないが 議会へは事務局を通じ話をしている

K議員 町長の行政姿勢について ①執行部と議会とは両輪になっていないのではないかと。議長に聞く話を聞かないという。議長が気にいらないので話さないのか。また、課長会議では町長が一人で話をしているというが。②町長が就任する前のことだが、昭和57年に交通事故に遭い、その保険金を受け取るとき、架空の給与証明を出したという。

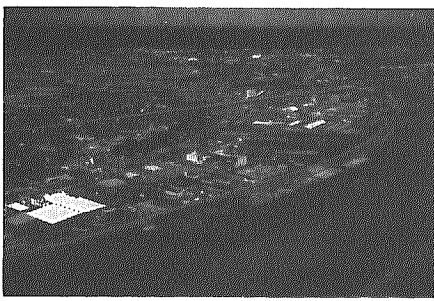
指名入札は公平になされているのか 指名委員会で協議して決定している

K議員 業者の指名入札について ①最近町内各地で工事をしているが、特定の業者が多いように思う。公平な指名入札をしているのか。町長を支持しているのか。61年度の庁舎増改築の

4年間でどうなったか。あとの観光物産センターは。町長 ①公共下水道は近年中に着手すべく、地図をまず作る。当町は単独でやらざるをえない。新潟市の処理場には黒埼分は含まれていない。市善久の児童遊園を一か所にし拡張を付近に住宅が建っているなどで困難

政令都市なら新潟市と合併が先では 黒埼市を目指し、政令都市の構想も

J議員 第三次総合計画の実施状況について ①人口5万人都市構想と政令都市構想の整合性について。新聞に、新潟市にまかせては政令都市は進まないという町長のコメントが載っていた。政令都市を目指すのなら、黒埼の合併が先。新潟広域都市圏(18市町村)の中で本町の人口は2%、面積は3%しかない。第3次総合計画のいう5万人都市を目指すのか、新潟市と合併するのか。



町長名義の花輪は公平に出しているか 弔慰規程がない。弔慰金は63年15件

K議員 慶弔規定について 時節から最近亡くなる方がいられ「黒埼町長・青木太郎」という花輪が目につく。公平に出しているのか。数はどのくらいか。総務課長 慶弔規程はなく弔慰規程はある。弔慰規程に花輪は載ってなく、よほどのことがなければ出さない。小林静夫県議会議員の死亡の際は出した。63年弔慰金を支払ったのは15軒で花輪はない。香典は「黒埼町長」だけで名前は入れない。弔事は香典、おかし、弔電など。祝いごとの規程はない。



12月議会

昭和から平成へ

先の天皇陛下崩御

先の天皇陛下は一月七日午前六時三十二分、十二指腸乳頭周囲腫瘍(腺がん)のため、皇居で崩御されました。八十七歳でした。皇太子明仁親王は憲法と皇室典範に基づき、直ちに皇位を継承し新天皇に即位されました。五十五歳です。政府は「昭和」に代わる新元号を

七日の臨時閣議で「平成」に制定し、八日午前零時から施行しました。「平成」には「国の内外にも天地にも平和が達成される」という意味がこめられています。ご葬儀にあたる大喪の礼は、二月二十四日、東京の新宿御苑で国の儀式として行われます。